

《研究課題名》

腹壁ヘルニアおよび鼠径部ヘルニア手術症例における短期・長期成績の検討

《研究対象者》

2010年1月1日から2026年1月31日までの期間に、
滋賀医科大学医学部附属病院 消化器・乳腺・小児・一般外科において、
腹壁ヘルニア（腹壁癒痕ヘルニア、臍ヘルニア、白線ヘルニア等）または鼠径部ヘルニア（鼠径・
大腿・閉鎖孔ヘルニアを含む）
に対して手術を受けられた方。

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（8）の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2028年3月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 滋賀医科大学 外科学講座 消化器・乳腺・小児・一般外科 助教
小島正継

（2）研究の意義、目的について

《意義》

本研究により、ヘルニア手術における治療成績の向上や、より安全で適切な治療方針の確立につながることを期待されます。

《目的》

当院で腹壁ヘルニアや鼠径ヘルニアの手術を受けられた方について、手術後に起こった合併症の有無や、時間がたってから再発したかどうかを、これまでの診療記録をもとに調べます。

これにより、どのような患者さんや、どのような手術の方法で、合併症や再発が起こりやすいのかを明らかにし、今後のより安全でよい治療につなげることを目的としています。

（3）研究の方法について

《研究の内容》

当院の電子カルテより、当院で2010年1月1日から2026年1月31日までに腹壁および鼠径部の

ヘルニアに対して手術を行った患者を抽出し登録します。診療記録から得られる臨床経過、画像検査、血液検査などを調査し、合併症や再発の危険につながる因子を検討いたします。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

通常の診療で得られた以下の情報のみを使用します。

年齢、性別、身長、体重、BMI、併存疾患、喫煙歴、内服薬
ヘルニアの種類・部位・分類
手術方法、手術時間、出血量
術後合併症、再入院、再手術
再発の有無、観察期間

※本研究のために新たに情報を取得することはありません。

《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

(4) 個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（8）の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（8）にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

滋賀医科大学 外科学講座 小島 正継

住所:520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号: 077-548-2238

メールアドレス: hqsurge1@belle.shiga-med.ac.jp (外科学講座医局)